

令和7年度 旭市立干潟小学校 第2回学校運営協議会

期日 令和7年11月7日(金)

時間 10:30～13:00

場所 校長室・会議室

(出席) 学校運営協議会委員8名、旭市教育委員会2名

(欠席) 学校運営協議会委員2名

【第2回学校運営協議会次第】 進行：事務局

- 1 始めの言葉 (事務局)
- 2 校長挨拶 (小川校長)
- 3 日程説明 (事務局)
- 4 授業参観
- 5 意見交換 (委員の皆様から)

【授業参観から】

阿天坊委員 : どの学年の児童も学習に一生懸命取り組んでいた。家庭教育学級では、栄養教諭が食育の講話を行っていた。保護者向けの話もあるので、1年生の児童には、内容が難しいという場面もあった。

小野委員 : 児童が真剣に学習に取り組む姿が見られた。1年生も半年が過ぎて前を向いて学習に取り組むことができている。また、高学年の児童は、集中して学習することができている。

小柳津委員 : 1年生も後ろを向かずに学習できているのは、先生方の指導のおかげだと思う。

鈴木(恵)委員 : 4年生の理科や6年生の音楽等、児童が興味をもつような活動で、おもしろい授業であった。専科授業は、専門性のある先生が授業をしてくれるのがよい。また、特別支援学級は、それぞれの児童の特性を理解し、自主性を尊重した授業が展開されていた。旭市には、特別支援学級への支援員の配置等を希望する。

鎌形委員 : 児童が真摯に授業に取り組んでいることが嬉しかった。また、干潟小が読書活動に力を入れていることがわかった。あらすじを捉え、感想をもつだけでなく、それを伝えたり薦めたりする活動がよい。

齋藤委員 : 先生が一方向的に教える授業ではなく、児童の意思や自主性を尊重した授業が展開されていた。世界で活躍する人材を育てるためにも、高学年のプレゼンテーションの活動等、今後も大切にしてほしい。

【その他】

小野委員 : 全国的に不登校や暴力行為の件数が増加していると聞く。干潟小学校の状況はどうか。

小川校長 : (本校の状況について説明)

小柳津委員：教室が小さく感じるが、今後、統廃合が進んでいき教室を新設等する場合、教室が大きくなるということはあるのか。

伊藤指導主事：基本的に教室の大きさはどの学校も同様であるが、矢指小学校は廊下の壁が可動式でオープンスペース等がある。高学年は体が大きかったり机の規格の関係で小さく感じるのかもしれない。教室の大きさを変えるのは簡単ではないが、今日の5年生の授業のように2つの教室を活用する等して、工夫して空間を広く使うことはできる。

小柳津委員：廊下を歩いているときに、児童が挨拶をしてくれた。自分の知らない人にも挨拶できることは素晴らしい。

鈴木(恵)委員：学校の中に図書がたくさんある。本を読むだけでなく、感想を伝える等学校全体で取り組んでいる様子がわかる。読書は、子どもたちの文章を書く力や集中力の向上につながる。また、先生のおすすめ本の紹介や児童が作成した本の帯の展示等、児童が本を読みたくする工夫がされていた。

小川校長：図書活用については、全校で取組を進めている。おすすめ本の紹介については、鈴木委員や阿天坊委員にも協力していただいた。大変ありがたい。

鈴木社会教育

指導員：干潟小学校は、自主防災会の活動やお祭り等、地域と学校の関わりやつながりが深い。児童にとっては、地域の人と関わることは、大変意味のあることである。児童が安心感や希望をもつことにもつながるので、今後も大切にしてほしい。

伊藤指導主事：地域学校協働活動は、子どもたちを地域で育てるところからスタートしている。引き続きその視点を大切にしてほしい。また、干潟小学校の読書活動の取組は、研究発表大会がきっかけとなっているが、学校全体で様々な取組が進められており、児童の好奇心をくすぐるしかけをたくさん目にした。地域の方のおすすめ本の紹介は、児童の目を引くものとなっており、地域を巻き込む活動ということが新たな視点である。不登校等の話題があったが、旭市としても相談窓口や各種取組を進めている。

6 給食試食会

7 連絡等 (事務局)
第3回学校運営協議会
令和8年2月13日(金) 15:00

8 終わりの言葉 (事務局)